

大野山の記念樹「山桜」の現状について

2024年4月14日 会員・高橋昇

2024年4月14日(日)、新緑が爽やかな大野山に登って来ました。新ハイキングクラブ横浜支部の60周年事業として植林された「山桜」2本の現状調査が目的でした。

大野山の麓の桜はすでに葉桜化が進行しつつありますが、中腹、山頂と登るにつれて、満開の桜を堪能できました。

さて、当支部「山桜」2本ですが、結論から言えば、葉が枯れるなど病気の様子はなく、順調に生育しているようです。樹医ではありませんが、病気や枯れ、衰退の印象はありませんでした。自然に育っている感じでした。ただ、栄養分が足りないのか、やせ細っていました。

詳細に言えば、2本の桜の木は細い幹と枝が上方にひょろひょろと8~10mくらいの高さまで伸び、開花の前にすでに新葉が出ています。幹の中ほどには枝がないので、もやしのような印象です。桜の開花は2~3個くらいで、満開はまだ先の様子です。左側のもう1本の山桜は、幹の中ほど(地上から2m付近)で、枝がむしり取られたような、まだ生々しい傷跡が見えます。ただ、樹木の生命に異常はないようです。

大野山頂上の大きな桜は「ソメイヨシノ」でしょうか素晴らしい満開です。一方当協会の「山桜」はいまだ開花前なのに、すでに葉桜のような感じですが、桜の種類によるのでしょうか。ただし、当協会の「山桜」だけの実態ではなく、付近の同じ種類の桜も似たり寄ったりの状況でしたから、「山桜」の成長を我慢強く待つしかないようです。今となっては、山桜を植林した選択が残念です。出来たら、毎年肥料をあげた方が良いでしょう。

別紙に写真を添付します。

2024年4月14日 大野山の記念樹の状態



↑ 記念樹2本の遠景



↑ 木の上方の枝ぶり、新緑



↑ 木の上方の新緑のアップ

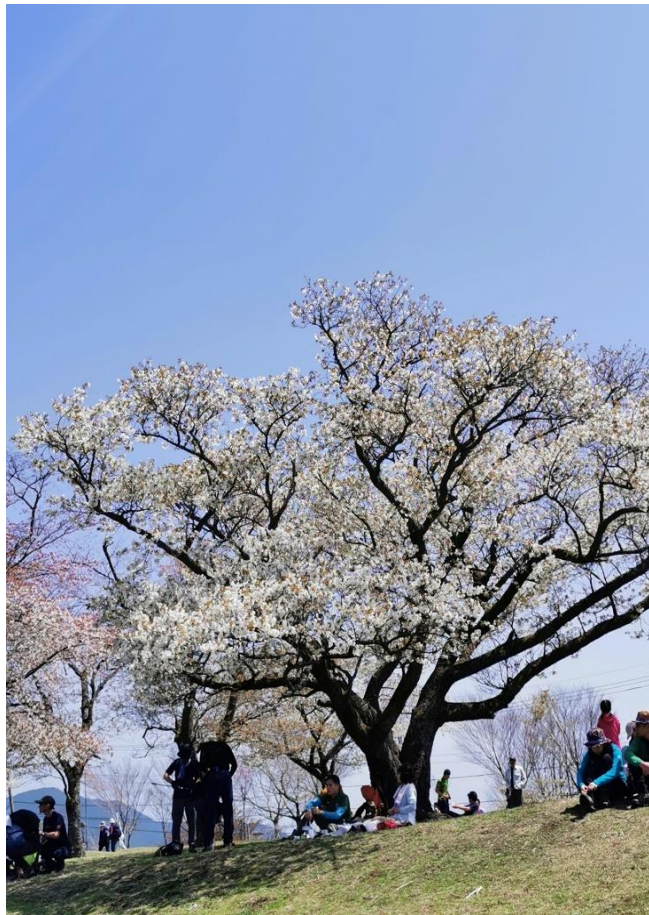


↑ 左側の木、幹の中ほどが人為的に裂けてい

る



↑ ささやかな開花



↑ この時期、大野山の満開の桜(種類が違う)